

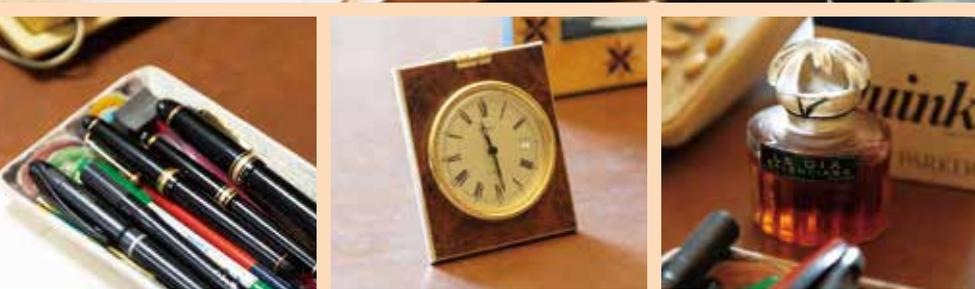
企画展

堺に生きた

山崎豊子のまなざし

— 愛用品の数々 —

The Literary Perspective of Toyoko YAMASAKI:
Her Life and Work in Sakai



令和7年

4 / 19 (土) → 5 / 29 (木)

時間 | 9:00 ~ 18:00 (最終入館17:30)

休館日 | 第3火曜日(5月20日)

会場 | さかい利晶の杜 企画展示室

観覧料 | 一般300円、高校生200円、中学生以下無料

※「千利休茶の湯館」「与謝野晶子記念館」の観覧券でご覧いただけます。

※障害のある方と介助者、堺市内在住の65歳以上の方は無料

主催：堺市

協力：一般社団法人 山崎豊子著作権管理法人、相愛大学、株式会社 新潮社、株式会社 文藝春秋



さかい利晶の杜
Sakai Plaza of Rikyu and Akiko



堺に生きた

The Literary Perspective of Toyoko YAMASAKI:
Her Life and Work in Sakai

山崎豊子のまなざし

—愛用品の数々—



山崎豊子は、大正13(1924)年大阪船場の昆布商の老舗に生まれました。旧制相愛高等女学校(現：相愛中学校・高等学校)に進学し、旧制京都女子専門学校(現：京都女子大学)国文科を卒業しました。卒業後、毎日新聞社に入社、のちに作家となる井上靖のもとで働きました。記者生活のかたわら小説を書き始め、昭和32(1957)年、生家をモデルとした『暖簾』で作家デビューを果たし、『白い巨塔』『華麗なる一族』『沈まぬ太陽』など多くの作品を世に送り出しました。

堺の浜寺には、作家として独立したころから、平成25(2013)年に亡くなるまで住んでいましたが、そのことはあまり知られていません。本展では、山崎豊子の作品が生み出された書斎の一部を展示室に再現し、本棚や庭などを写真パネルで紹介することで、山崎豊子のまなざしを追体験するような構成とします。さらに、応接室で使用されていた愛用品の数々を展示することで、堺に住んだ作家山崎豊子の素顔と、作品を生みだした世界観の一端を感じていただければと思います。



〈書斎の本棚(一部)〉

contents

I 山崎豊子の癒しの地、堺

山崎豊子は大阪船場に生まれ育ちましたが、小学校時代から夏休みは堺の別邸で読書をして過ごしていたといわれています。「花のれん」の創作ノートや写真を中心に、山崎豊子の生涯を紹介します。

II 山崎豊子、執筆の現場

書斎の一部を展示室に再現し、山崎豊子の執筆風景および執筆していたときに見ていた光景を感じていただきます。

III 山崎豊子のおもてなし

出版社やテレビ会社など、多くの人と打ち合わせをした応接室に飾られていた愛用品々から、山崎豊子のまなざしを追います。

初出品
多数!



〈グリフンの壺〉



〈ティーカップ〉



〈リヤドロ製の人形〉

event 関連事業

講演会

「山崎豊子の文学的出発 —新資料から見えてくること—」

日時 5月18日(日) 13:30~15:00

講師 荒井 真理亜氏(相愛大学人文学部教授)

会場 講座室 定員 50名、先着順 参加費 無料

申込み 4月5日(土) 9:00 申込開始

お電話または予約サイトにてお申込みください。

TEL: 072-260-4386 予約サイトはこちらから▶

※講演会終了後、学芸員による展示解説を行います。

参加を希望される場合は、展示観覧券をお求めください。



学芸員による展示解説

日時 4月29日(祝・火)、5月10日(土) 各日13:30~(20分程度)

会場 企画展示室 参加費 無料(当日の展示観覧券が必要です)

申込み 不要、直接会場へお越しください。

図書情報コーナー

山崎豊子の代表作のうち、『沈まぬ太陽』、『約束の海』のほか、長年の秘書だった野上孝子による『山崎豊子先生の素顔』などを、図書情報コーナーにて紹介します。

アクセス



交通案内

「阪堺線 宿院駅」より徒歩1分 「南海線 堺駅」より徒歩約10分

「南海高野線 堺東駅」よりバス約6分 最寄りバス停「宿院」下車 徒歩1分

